

## スペインのプレイツールブランド RS BARCELONA新商品のお知らせ

平素は格別のご高配を賜わり、誠にありがとうございます。

スペイン・バルセロナのプレイツールブランド、RS BARCELONA（アールエス バルセロナ）より、新作のご案内です。スチールの本体と丸みを帯びたイロコ材の脚の組み合わせが温かみを感じさせるフットボールテーブル「RS4 Home（アールエス4ホーム）」と54種類という豊富なサイズ展開のテーブル「B-Around（ビーアラウンド）」を、  
2021年8月20日より日本で販売開始致します。



### RS4 Home アールエス4ホーム

人気のフットボールテーブルに、スチールの本体と丸み帯びたイロコ材の脚という組み合わせが温かみを感じる新シリーズ、RS4 Homeが登場。盤上のプレイヤーは白と本体と同色でシンプルな印象。どんな空間とも相性抜群です。家族や友人と過ごす時間をより楽しんでほしいという思いから、これまで展開してきたフットボールテーブルに比べ、手の届きやすい価格帯になっているのもうれしいポイントです。遊び心を持っている限り、年齢は関係ありません。笑い声が最も響き渡るところならダイニングルームでもお庭でもどこでもお楽しみいただけます。



### B-Around ビーアラウンド

B-Aroundテーブルは、5つの長さ、2つの幅、2つの高さ、スクエアやラウンドなど 54種類からお選びいただくことが可能です。サイズのバリエーションが豊富なため、オフィスのデスクや会議用テーブルをはじめ、自宅やバー、レストランのダイニングテーブルなど、あらゆる場所で活躍します。テーブルトップは耐久性の高いイロコ材を採用。室内でも、屋外でも、様々な環境で快適に使うことができます。You and MeベンチやOmbraスツールとの相性も抜群です。



**RS4 Home** アールエス4ホーム

日本販売開始  
8月20日（金）

サイズ / 価格（税抜）  
W 860(1280)× L 1510 × H 920 mm / ¥545,000

カラー（全4種）  
グレー・イエロー・ネイビー・テラコッタ

脚（全1種）  
イロコ



**B-Around**

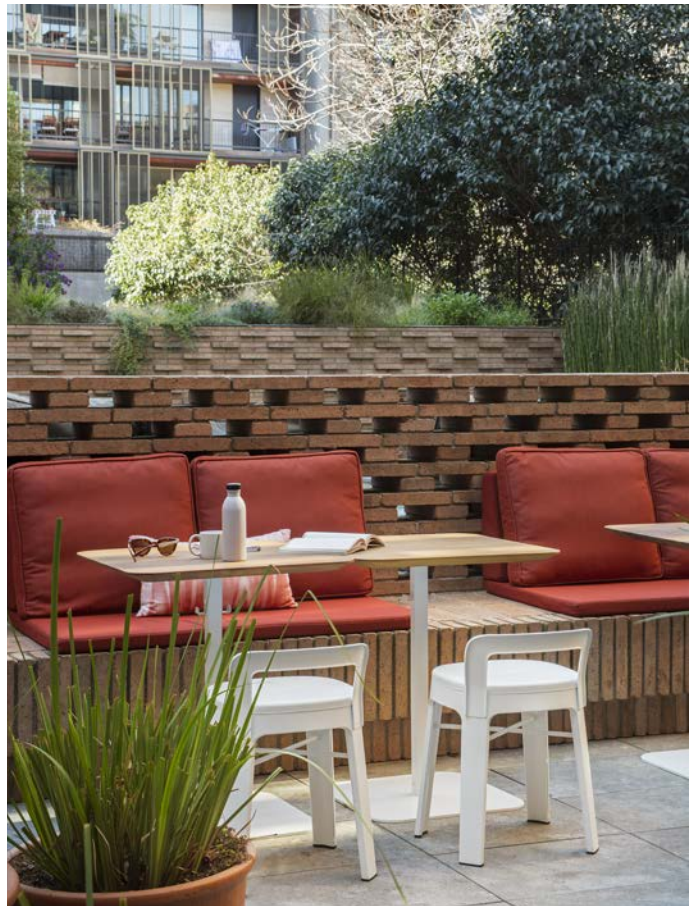
ビーアラウンド

日本販売開始  
8月20日（金）

サイズ（全54種）  
W 650～W 2850 mm / ¥172,000～

カラー（全2種）  
ブラック・ホワイト

天板（全1種）  
イロコ



# ブランドおよびデザイナーのご紹介



スペイン・バルセロナで、父親が営む金属工房で職人をしていたRafael Rodríguez（ラファエル・ロドリゲス）が1975年に始めたユニークなプレイツールブランド「RS BARCELONA（アールエス バルセロナ）」は、それまでになかったデザイン性の高いフットボールテーブルを始め、オフィスやダイニングで使用できる卓球台、エレガントなビリヤード台など、美しく遊び心のあるオリジナルプロダクトを作り続けています。好きなものに囲まれた心地よい時間や、楽しみながら生きることを提案し、世界中の人々に笑顔を運んでいます。



**Rafael Rodríguez** ラファエル・ロドリゲス

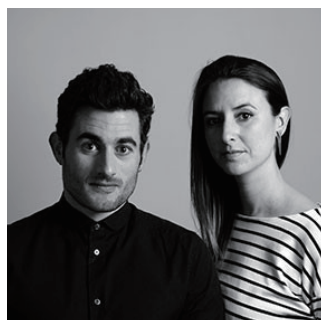
父親の経営するバルセロナの小さな金属工房で、メーカーに納品するための金型作りを担当していたラファエルは、日々、弟のセルジョと共に技術を磨いていました。そんなある日、スペインではもちろんヨーロッパのバーやオフィスなどで、誰もが楽しんでいる「フットボールテーブル」をデザインするアイデアが浮かびました。父親の金属工房で培った確かな技術を用いて自身の手で作上げた今までにないデザイン性高いフットボールテーブルは、瞬く間に世界中から注目を浴びました。その後も精力的にデザインを続けながら、スペインの若手デザイナーとのコラボレーションも進め、RS BARCELONAをスペインを代表するデザインブランドへと成長させました。



**Antoni Pallejà**



**Emiliana Design Studio**



**Yonoh**



**José Andrés**



ヨーロッパを中心とした世界のインテリアデザインブランド及びアーティストの日本総代理店を務める輸入商社。1998年の創業当時から取り扱う「DOMANI」（プランター）、「Henry Dean」（フラワーベース）に加え、現在では「extremis」（アウトドア家具）、「BROKIS」（照明）、「RS BARCELONA」（プレイツール）、「CASINI」（バランスボール）そしてアーティストである「Fabian von Spreckelsen」の日本窓口を務めています。

ただプロダクトや作品を紹介するのではなくそれぞれのブランドやアーティストが併せ持つ独自の世界観や哲学、彼らのものづくりに向き合い、それをただしく、しっかりと日本の市場へ伝えることをモットーとしています。